

VI 事業報告

1 総括

大阪府内の学校給食の普及充実発展並びに教育及び文化の振興を図り、もって府民生活の向上及び健康保持増進に貢献するために、府内各市町村、大阪府教育委員会等と連携して諸事業を実施した。

2 理事会・評議員会の開催

次のとおり理事会及び評議員会を開催して、事業計画・予算・決算等について審議をおこなった。

(1) 理事会の開催

回数	開催年月日及び場所	決議事項
1	平成30年6月7日 給食会 会議室	(1) 「平成29年度事業報告及び計算書類等の承認」について (2) 「任期満了による理事候補者」の選定について (3) 「任期満了による監事候補者」の選定について (4) 「定時評議員会の日時及び場所並びに目的」について
2	平成30年6月25日 書面	(1) 「理事長(代表理事)選定」について (2) 「常務理事(業務執行理事)選定」について
3	平成31年3月25日 給食会 会議室	(1) 「平成30年度補正予算書」について (2) 「2019年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類」について (3) 「公益財団法人大阪府学校給食会会計処理規程の改正」について (4) 「基本財産である投資有価証券の売却」について

(2) 評議員会の開催

回数	開催年月日及び場所	決議事項
1	平成30年6月25日 給食会 会議室	(1) 「平成29年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに財産目録の承認」について (2) 「任期満了による理事の選任」について (3) 「任期満了による監事の選任」について

3 学校給食支援事業

児童生徒の心身の健全な発達と望ましい食習慣を形成する上での学校給食の重要性にかんがみ、安全・安心で良質な学校給食用物資の安定価格での安定供給に努めるとともに、大阪府学校給食大会をはじめ各種講習会などの学校給食普及事業、並びに栄養教諭や一般教諭、管理職を対象とした食に関する指導の支援セミナー、児童・生徒を対象としたコンテスト等食育推進を支援する事業にも取り組みを行った。

給食用物資については、公的検査機関等による取扱物資の検査、パン・米飯、牛乳製造工場等の巡回調査等を実施し、安全性の確保と品質の向上に努めた。また、市町村・学校の代表者で構成する大阪府学校給食用物資運営委員会での取扱物資の選定、購入等について意見を聴取し、市町村等のニーズに応じた供給に努めるとともに、外部の学識経験者・有識者の協力を得て事業における公平性の確保や専門性の向上に努めた。また、国が推進する地産地消の一環として府内の農家とたまねぎ栽培契約を締結し「学校給食用たまねぎ」を当給食会の職員も現地に赴き栽培を行った。

(1) 学校給食用物資の供給事業

1) 学校給食用物資供給校及び対象人員(平成30年度牛乳の需要量申請より)

区 分	年度	学校数	対象人員
小 学 校	30	985 校	466,250 人
	29	992 校	468,323 人
中 学 校	30	406 校	122,476 人
	29	410 校	142,097 人
特別支援学校	30	42 校	13,840 人
	29	42 校	13,822 人
夜間定時制高等学校	30	1 校	80 人
	29	1 校	80 人
合 計	30	1,434 校	602,646 人
	29	1,445 校	624,322 人

2) 学校給食用物資の供給状況

区 分	平成30年度	平成29年度
パ ン (特別加工パン 内数)	38,995,253 食 (31,658,382 食)	38,446,058 食 (30,991,779 食)
米 飯	39,407,021 食	36,639,650 食
精 米	3,489,671 kg	3,466,116 kg
牛 乳	74,622,978 本	76,799,327 本
米飯用加工食品(麦・α化米)	82,224 kg	83,598 kg

区 分		平成 30 年度	平成 29 年度
一般物資	副食(惣菜・加工食品)	374,350,344 円	388,757,618 円
	調味料類	113,259,340 円	117,699,913 円
	デザート類等	89,368,437 円	99,843,500 円
	一般物資合計	576,978,121 円	606,301,031 円

3) 安全衛生及び品質管理に関する事業

① 学校給食用物資の検査

食品の安全確保、良質な物資の供給を図るため、公的検査機関等に委託して各種検査を実施した。検査結果については全検体基準値内、規格内であった。

区 分	検査方法	検体数	検 査 内 容
一般物資	理化学	36	重金属・ヒ素・スズ・ヒスタミン
	微生物	48	一般生菌数・大腸菌群・O157・リステリア他
	微生物	45	発育微生物(レトルト・缶詰)
小 麦 粉	理化学	3	残留農薬等(21項目)及びカビ毒
	理化学	3	製パン適性度
	理化学	50	水分・蛋白・灰分他
米	理化学	7	残留農薬
	理化学	273	スクリーニング検査(556成分)+個別検査 品位(精米水分・品質・異物・白度・胚芽残存率)、カドミウム・ヒ素・鉛・たんぱく・アミロース・DNA鑑定
	放射性物質	23	セシウム 134 及びセシウム 137
	地場産米理化学	4	残留農薬スクリーニング検査(300成分)+個別検査
米 飯	理化学・微生物	17	水分・大腸菌群・黄色ブドウ球菌・セレウス菌
牛 乳	理化学	16	比重・酸度・乳脂肪分・無脂乳固形分
	微生物	16	一般生菌数・大腸菌群
	放射性物質	33	セシウム 134 及びセシウム 137
計		574	

※委託検査機関

(一財)日本食品分析センター
(一財)日本穀物検定協会
日本エコテック(株)

(公財)山口県予防保健協会
(株)BML フード・サイエンス
(株)日本食品エコロジー研究所 他

② 製造工場の指定と巡回調査・指導

施設設備に関する一定水準以上の選定基準等を定めて学校給食パン及び炊飯指定工場等に指定するとともに、衛生管理の徹底を図るため、各工場に立入り巡回調査・指導を実施した。

製造工場	選定基準等	工場数	調査・指導延回数
パン指定工場	パン指定工場選定基準	19社	24回
精米業者	精米業者選定基準	3社	3回
炊飯指定工場	炊飯指定工場選定基準	17社	18回
牛乳供給事業者	事業者認定基準(大阪府制定)	11社	15回
製粉工場	農林水産省指定工場	3社	3回

検査項目:ATP 検査法

③ 指定工場従業員教育の実施

ノロウイルス食中毒対策として、パン及び炊飯指定工場の従業員を対象に正しい知識を指導し、正しい手洗い方法について手洗チェッカー等を使用し実習を行った。また、正しい手洗いの評価を拭き取り検査により検証した。

なお、本事業は地域を北部と南部とに分け、隔年で実施している。

開催日	会場	参加人数
平成30年10月6日 ～11月17日	各工場、給食会会議室等	8工場 90名
拭き取り延検査数		205件

検査項目:ATP 検査法

④ 衛生管理講習会等の実施

パン・炊飯指定工場を対象に食品の安全衛生講習会を実施した。

開催日	会場	参加人数
平成30年4月6日	給食会会議室	32名
平成30年11月2日	給食会会議室	31名
平成31年2月22日※	給食会会議室	31名

※ 例年は4月と11月に実施しているが、平成30年度は追加的にクレーム事案発生時の適切な対応と報告書の作成について、グループワーク研修を実施。

4) 品質の確保、向上に関する事業

① 物資運営委員会の開催

市町村・学校の代表者で組織する学校給食用物資運営委員会を開催し、学校給食用物資の選定、価格及び品質・規格について審議し、取扱物資の学校給食への適切な供給と品質の確保・向上に努めた。

ア 学校給食用物資運営委員会

	開催日	主な内容
第1回	平成30年7月4日	年間行事予定について 第2学期分の取扱物資について 研修「大阪府学校給食用牛乳供給事業に関する説明」「食品の異物混入について」
第2回	平成30年11月21日	第3学期分の取扱物資について 研修「だしの特徴と活用について」
第3回	平成31年2月20日	平成31年度第1学期分の取扱物資について 研修「平成31(2019)年度大阪府学校給食用牛乳供給価格にかかる説明について」

イ 品質小委員会

	開催日	主な内容
第1回	平成31年1月23日	一般物資の品質審査・官能審査

ウ 開発選定小委員会

	開催日	主な内容
第1回	平成30年9月7日	平成30年度の取り組みについて 開発選定商品の検討及び審議について
第2回	平成30年10月10日	開発選定商品の検討及び審議について
第3回	平成31年1月31日	開発選定商品の検討及び審議について

エ 新規取扱物資製造工場調査

物資運営委員会副委員長1名並びに委員1名の同行のうえ物資の製造状況、衛生管理状況の立入調査を実施した。

実施日	平成30年10月16日
調査工場	白鶴酒造株式会社 ・本社工場（兵庫県神戸市東灘区住吉南町4丁目5-5） ・灘魚崎工場（兵庫県神戸市東灘区魚崎浜町13番地）
製造物資	料理の清酒（無塩）、本みりん

② パン品質審査会

開催日	主な内容
平成30年11月16日	全パン工場のパンの品質審査（市町村抜き取り）

5) 展示会等の実施

市町村等への学校給食用物資の選択の場として各種展示会を開催するとともに、学校給食用物資についての基礎的な知識の普及を図るため、物資展示会等を実施した。

事業名	実施日	場 所	内 容	参加者
学校給食用物資 展示・試食会	平成 30 年 7 月 25 日	アウྂーナ 大阪	学校給食用物資各種、 特別パンの展示・試食、 食育教材の貸出物展示	322 名
新米試食会	平成 30 年 10 月 19 日	大阪赤十字 会館会議室	新米試食と選定	50 名
学校給食用一般 物資展示・試食会	平成 30 年 12 月 25 日	アウྂーナ 大阪	学校給食用物資各種の 展示・試食 食育教材の貸出物展示	332 名

(2) 学校給食の普及充実及び食育推進事業

1) セミナー・講演・講習事業

① 食育推進支援セミナー

チーム学校ですすめる食に関する指導力向上についての研修・児童・生徒の食に関する課題への対処方法についての研修、並びに心理療法の有効的な活用方法についての研修を実施した。

講習回数 全 10 回 受講者延べ 243 名

・食育授業作りグループ別指導

八尾市、大阪市生野区の研究グループに対して、食育に関する公開授業へ向けてグループ別の講習会を実施した。

講習回数 23 回 受講者延べ 328 名

② 食育講演会

栄養教諭等の食に関する知識の充実のため、「食」に関連した内容をテーマに講演会を開催した。

平成 30 年 12 月 25 日(火) 14:00～16:00 ホテルアウྂーナ大阪

演 題 「食べることは生きること」

講 師 村上 祥子 氏

参加者 332 名

③ 大阪府学校給食大会(第 72 回)

大阪府教育委員会との共催で、大阪府内の学校給食関係者を対象に「食の重要性」をテーマとした講演を行うとともに、学校給食功労者の表彰を行った。

平成 30 年 7 月 23 日(月) 大阪中央公会堂

実践発表「生きる力をはぐくむ食育活動」

泉佐野市立佐野台小学校 校長 佐々木 理江 氏

教頭 伊藤 晴基 氏

講演「給食室からも食育の実践をはじめよう」

講師 福岡県福岡市立南当仁小学校 元校長 村本 繁 氏

元学校給食調理員 山野 みよ子 氏

参加者 482 名

④ パン実技講習会

栄養教諭等が学校給食用パンの品質など見る目を養うため、パンに関する基礎知識・製パン技術についての講習会を開催した。

平成 30 年 8 月 7 日(火)、8 日(水) 大阪パン会館

参加者 24 名

⑤ 献立講習会

栄養教諭等が献立の多様化など学校給食の充実に活かせるよう、食品知識や料理法に関する講義や調理実習の講習会を開催した。

平成 31 年 2 月 5 日(火) 大阪ガスハグミュージアム

内 容 「業務用回転かまど・立体炊飯器・スチームコンベクションオーブンを使用した献立」の調理実習

受講者 27 名

2) コンテスト事業

① 小学生部門 おおさか学校給食献立コンテスト

小学校及び特別支援学校の小学部の 5 年生・6 年生を対象に学校給食の献立を募集し、コンテストを実施した。また、優秀作品には表彰を行った。

テーマ こんな給食たべたいなあ！「たのしいスペシャル行事食！」

応募献立数 1,948 作品(応募人数 2,479 名)

② 中学生部門 朝食フォトコンテスト

中学校及び特別支援学校の中学部を対象に朝食の写真を募集し、コンテストを実施した。

テーマ 「我家のホリデイモーニング」

応募献立数 2,189 作品(応募人数 2,214 名)

3) 展示会事業

「おおさか食育フェスタ 2018」は中止となった。

4) 体験活動事業

① 「出前魚講習会」

大阪府内の児童・生徒等を対象に、地産地消の推進を図るため、大阪湾で

漁獲される魚の種類・時期・主な魚の栄養等の基本を学び、また、魚を見る・触る・おろすという体験を通して魚を身近に感じてもらい、漁獲・流通等にかかわる人達の努力や食への感謝の念を育む心を養うための講習会を開催した。

小中学校、支援学校 8 箇所で開催

参加者 175 名

② 「出前パン作り教室」

大阪府内の児童・生徒等を対象に、学校給食パンの製造から試食に至るまでの出前教室を実施することにより、食に対する関心と意識を高め、製造等にかかわる人達の努力や食への感謝の念を育む心を養うための講習会を開催した。

府内小中学校、支援学校、親子教室 19 箇所で開催

参加者 685 名

5) その他の学校給食普及充実及び食育推進事業

① 食育推進助成事業

大阪府内の学校等が行う食育ポスター作成・料理教室、その他地場農作物を使用した行事等食育を推進する事業の実施団体に対し助成金を交付した。

助成団体 26 団体

② 食育教材等貸出事業

市町村教育委員会・学校及び栄養教諭等学校給食関係者に対し、「食育」や「学校給食の普及充実」に関係する書籍・DVD・紙芝居・フードモデルなどの各種教材、また「衛生管理」に役立つ教材や簡易検査器具、並びに「栄養価計算や献立作成等」を行える学校給食管理システムを無償で貸与した。

貸出件数 414 件

6) 広報・普及啓発事業

① 季刊誌「おおさかの学校給食だより」の発行

市町村教育委員会・学校に対し、季刊誌を年 4 回配布した。

発行部数 8,900 部

② 「ホームページ」の運営

ホームページの一般向けページでは「食育」や「学校給食に関する情報」を紹介するとともに、学校給食関係者の専用ページでは当給食会が取り扱う学校給食用物資の紹介並びに安全衛生や品質面での分析検査結果などを掲載した。

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。